

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○⑦

ここに持ってきた写真は一応写っていますが、セキレイの仲間やハトの仲間を撮影すると、時折起きる現象があります。それは、体の一部にピントは合っているのですが、違う部分は思いっきりブレているというものです。セキレイの場合、顔はちゃんと写っているのに、腰から尾にかけてがブレブレ。ハトの場合は、胴体は写っているけど首から頭がブレブレ。

つまり、ご存知の通り、キセキレイは腰から尾を常に上下に動かしています。最近見かけたのですが羽繕いをしている時も尾は動いていました。また、キジバトは歩くとき、胴体はスムーズに移動していますが、頭は一歩進むたびに前後に素早く動いています。他にも思い当たる鳥はいると思います。モズとかジョウビタキとかカワセミとか。鳥はそんなふうに関体の一部分が特徴的な動きをするものが多いような気がします。なぜ、その様な動きをしなければいけないのでしょうか。見ている分には楽しいのですが。〈さんじゃく〉



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(クラバード)内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 82★

春日公園で、初夏を、ゆっくと観察します。

★日時 3月18日 (日) 集合14時 ~ 解散16時

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

3/18 (日) 4/15 (日)
天拝山探鳥会 (筑紫野市)
時間：9:00~12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026 (重松尚紀)

3/25 (日) 4/22 (日)
久末ダム探鳥会 (福岡町)
時間：9:00~12:00
集合：久末ダム多目的広場横
駐車場 (管理事務所下)
問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)

4/1 (日)
今津探鳥会 (福岡市西区)
時間：9:00~12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005 (神園道男)

4/14 (土)
大濠公園探鳥会 (福岡市中央区)
時間：9:00~12:00
集合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827 (森健児)

4/8 (日)
和白海岸探鳥会 (福岡市東区)
時間：9:00~12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

4/3 (火)
県営春日公園 (春日市)
時間：10:00~12:00
集合：音楽堂ステージ側
問合せ：092-592-3423 (小野仁)

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会 主催

3/25 (日)
膿施山公園 (大牟田市)
時間：9:00~
集合：公園内すいせん橋
問合せ：野田達行 090-7446-9047

問合せ：092-662-2983 (佃 昇)

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4/7 (第1土曜日)
自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など)
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30~12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円
参加された方には新しい「自然観察マップ」も差し上げます。
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きもの情報を載せています



三国丘陵の自然を楽しむ会の観の様子



春を待つカラスザンショウ 三国・松永



ノウサギの足跡 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

久留米の自然を守る会 主催

3/24 (土)
守る会定例会議
時間：10:30~
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

3/24 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00~
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子)

直接お問合せください。
問合せ：<http://kurumenoshizen.net/>

2018年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、2月1日（旧暦12月16日）～2月28日（旧暦1月13日）までのデジカメ日誌です。



2月3日(旧暦12月18日) 小郡市上岩田
筑前町から小郡市にかけて、コウノトリ4羽が行き来している。1年前に筑前町で観たみ早に加え、昨年生まれの♀2羽が新しく加わっている。徳島のように、繁殖してほしいものです。



2月23日(旧暦1月8日) 福岡市東区名島
名島城公園にある桜と梅である。桜は高さは10m程だが横に大きく張っている。臥龍桜と案内されている。鱗芽に軟毛が多いので、ソメイヨシノか？梅は足利学校(栃木県)由来の不断梅と案内されていた。実が落ちないらしい。



2月3日(旧暦12月18日) 筑紫野市天拝坂
とても珍しい景色を家内が撮影した。筑紫野市の二日市地狭帯を埋め尽くした雲海である。街中は濃い霧であったようだ。日が昇るとやがて消えてしまった。



2月14日(旧暦12月29日) 福岡市城南区七隈
Tさんに情報もらって見に行った。キンクロハジロ50羽ほどの中に1羽だけ珍鳥がいた。コスズガモ。平成6年、上野の不忍池で見て以来の出会いでした。



2月15日(旧暦12月30日) 福岡市天神イムズ
九大総合研究博物館が所蔵している世界の昆虫標本展「きらめく昆虫標本」にあったもの。小学校の頃見た外国映画のワニの頭の蝶はこれであったのか。

くすのき 2018年3月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

2018年2月18日 春日公園観察会

天気は晴れ、風はほとんどなしで少し暖かい感じでした。2名で歩きました。

もうすぐ春、そんな証を探しました。この頃に、鮮やかな青い実をつける/シラン(ユリ科)、半分程度の実を何かが食べたようです。

馬酔木(ツツジ科)はつぼみが膨らんでいました。サンシュユ(ミズキ科)は花一輪発見。



餌探し、地上で探している野鳥が多いようでした。シジュウカラは背丈の低い植え込みで、ツグミ、キジバト、シロハラは地上で。

スズメも地上で何かを食べていたのですが、少し近づくとさっと常緑樹の茂みに移動。

ヒヨドリはラクウショウ(スギ科)の実を、コゲラはモミジバフウ(マンサク科)の枝に付いた何かを盛んにつついていた。



イロハモミジの冬芽は、外側の皮が開いていた。

生きものの営み、冬から春へ、いつも通りでしょうか。田字草

都市公園で自然観察会 83回 のお知らせ

H30年4月15日（日）の午後2時から4時まで、集合は、公園の中ほどにある自然遊び館です。

雨天でも実施します。

テーマ：苔の仲間を楽しむ 指導と助言は角正博氏

昨年4/16に実施した観察会の様子



苔の撮影に関して、角氏からの助言（昨年の観察会の報告から）

コケ画像は、茎や葉が小さいからといって、拡大すれば特徴が表れるものではありません。種類によっては群落の方が特徴や雰囲気を伝えられるものがあります。観察会で利用するための画像としては、今回の観察で、田村の撮影画像を見ていただき、助言をもらいました。例えば、コバノチョウチンゴケは、少し引いて群落の画像を撮影した方が、特徴が出やすいと思われます。

★ 会員 渋田 和美さんからの報告

枇杷の葉で染めるとこんな色！

赤っぽくなります。

枇杷の実の色を想像してください。

今（3/6）出来たばかりです。

葉っぱを四回煮出し、一回の染めです。

明礬媒染です。

編集係：熟した枇杷の実の色に近いでしょうか。



小さな子供たちにいろいろな自然体験を

次世代を担う子供たちに、大人が積極的に関わって、水、火、土、植物、動物、川、海、山などを感じる自然体験を、たくさんたくさんしてほしい。「沈黙の春 一生と死の妙薬」の著者レイチェル・カーソンの晩年の作品の中に、「センス オブワンダー」があります。その中で、著者は次のような表現をしています。

“私は、子どもにとっても、どのようにして子どもを教育すべきか頭を悩ませている親にとっても、「知る」ことは、「感じる」ことの半分も重要ではないと固く信じています。”

五感で感じる自然を体験することの重要性を、訴えていると思います。先日、ある親から、野外でたくさんの野鳥に出会ったが名前を知らないの、子供に教えられないと言われました。皆さんは、なんと答えられますか？

私は、「名前を言わなくてもいいんです。その鳥を子どもと一緒によく見て、大きさ、羽の色、くちばしの形、どんな環境にいるのか」などを、観察し、ニックネームをつけて、呼べばいいと思う」と言いました。重要なのは、子どもと一緒に、同じ空間で時間を過ごし、自然を体験することだと思います。田字草



ホトケノザの花にまとわりついた種子 (3/6 啓蟄の前日)

他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第202号 18. 3. 1
「鳥信で募集する野鳥たち」カシラダカの生態などを掲載
- ・福岡植物友の会 会報 平成30年2月号 第59巻
平成30年度の観察会予定、などを掲載

参加費・寄付金の報告 2018年2/16の参加費 400円



インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスは最初のページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(クラバード)にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！
次回の定例会は、平成30年4月13日(金)午後6時より事務局で行います。2018年4月号の原稿は、2018年4/9(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2018年2月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加しました。月に1度は自宅の周辺を、野鳥を観察しつつ、また季節的な草花も、記録しています。先日(2/17)の朝、いつものコースを歩いて、墓地に差し掛かった時、地上からバタバタと飛び上がって、傍のクロガネモチの枝に止まった鳥を見た。少し重い感じの飛び方だった。飛び上がった先をじっくり探して、見つけ少し興奮。いつものように証拠写真を3枚ほど撮った。それからゆっくりと移動して撮影方向を変え、撮影した。この地に移ってから24年ほどになるが、声を聞いたことはあったが姿をじっくりと観察できたのは初めてでした。

暮らしのすぐそばで、アオバトに出会えて、いい1日となりました。



クロガネモチの枝で見かけたアオバト(♀)